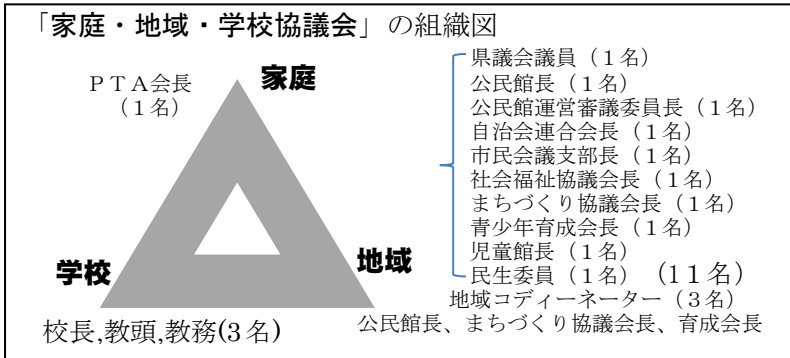


1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

(1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成



(2) 協議会の内容

- 開催回数 2回
- 開催日程 6月18日(火)
2月21日(金)
- ※協議内容
 - ・新年度の教育諸活動
 - ・安全対策、地域連携
 - ・学校運営の経過報告
 - ・今年度の成果と課題

(3) 協議会における成果と課題

いろいろな立場の協議会のメンバーから、地域の現状や問題点などをあげていただくことによって、地域が今何を学校に求めているのかを把握することができた。今年度地域の安全についての話題が出た。課題としては、しばらくメンバーが変わらないため、新しい意見が出てこない。今後メンバーについて再考していきたい。

2 地域と進める体験活動

(1) 活動のねらい

地域の環境を調べたり地域の人と関わったりする体験学習を通して、日之出地区に愛着をもち、主体的に行動できる児童を育てる。

(2) 活動の実際

①米作り体験から地区の川を流れる水質調査へ（5年生）

田植え体験のために訪れた一乗谷あさくら水の駅周辺の水は、大変冷たくきれいな水で、そのきれいな水の温度とにおい、pH値を測定することにした。その活動から、「自分たちが住んでいる日之出地区を流れる川の水でも調べてみたい」という興味を持つようになった。そのため5年生の総合的な学習の時間で、「地域の環境を調べる」というテーマのもと、地区を流れる4つの川（赤川、古川、荒川、芝原用水）について学習を進めた。



地区の4つの川の水質を調べるにあたり、9月に県衛生環境研究センターの方3名から、水質調査の意義と方法について学習をした。児童たちは、特にCOD値を調べるときのパックテストに興味を示した。水質によって色が変わるため、児童は早く自分たちの地域の川について調べたいという意欲が高まった。

9月21日土曜日の午前中にもかかわらず、しかも雨が降っている状況でも、日之出公民館の職員の方々、ひのでまちづくり協議会のメンバーの方々、保護者のみなさまの協力を得て、5年生50名が参加して川の水質調査（河川パトロール）を行った。車通りの多い道路の横断であったり川沿いの狭い道を通ったりと危険が伴うため、ポイントとなる地点には保護者の方に立っていただいた。調査内容は、水温、pH、COD、におい、にごりの5項目であった。児童は役割分担のもと、積極的に調査にあたる姿が印象的であった。地域コーディネーターの3名も全員協力してくださり、水質調査だけでなく、それぞれ4つの川の昔の

(様式3)

姿や水害を防ぐための工夫などについて、現地でお話をしてくださった。児童は興味深く話を聞いていた。

調査後、結果を学校へ持ち寄り、班ごとにレポートを作成した。それと同時に学年発表のための準備も進めた。学年で発表後、ふれあいフェスタ秋（公民館祭）でその中の3つの班が発表を行った。どの班も、「調査結果から考えられることについて」と、「今後川の水をきれいに保つための工夫について」発表することができた。今回の調査ではどこの川も問題になるような値は得られなかったが、自分たちが住んでいる日之出地区の川の水を、今後もきれいなまま保ちたいという児童の思いが発表から伝わってきた。



②地区のお年寄りとの交流（3年生）

日之出地区社会福祉協議会との連携で、自治会型デイホームを学校で行う「ひのでスマイル」を実施した。地域のお年寄りを学校に招いて、3年生と交流をもった。3年生は事前に、どのような活動をすればお年寄りが喜んでくださるか十分に話し合い、計画を立てていた。当日の動きについて、リハーサルを繰り返しながら、児童たちはお年寄りの方たちを楽しませるための努力を重ねていた。当日は、10数名のお年寄りが参加してくださり、児童の合唱や用意したゲームなどに対して大変喜ばれている様子であった。1クラス1回ずつ開催し、2回開催することができ、2回とも参加されるお年寄りがいらっしゃるほど喜んでいただけた様子であった。特に2回目の開催の時、インフルエンザがはやっており開催が危ぶまれたが、何とか開催でき「今日できたよかった」という喜びの声をいただいた。児童たちも、自分たちの取り組みに十分満足している様子で、再度実施したいという意見も多く出ていた。



（3）地域コーディネーターの活動概要

河川パトロール実施にあたり、事前の打ち合わせを何回も行った。特に育成会会長とは、3回程度学校の方へ来ていただき、日程や内容の調整などを行った。当日は、3名とも参加してくださり、児童への説明や引率、安全面の配慮など積極的に活動してくださった。また、ふれあいフェスタ秋での発表時にも3名とも参加してくださり、児童のいろいろな面でサポートしてくださった。

（4）特に工夫した事項

今まで行っていた地域の行事を、総合学習とコラボして、5年生の地域学習の活動として実施し、地域へ発信する取組を取り入れたこと。

（5）成果と課題

体験活動後どの児童も、活動を行ってよかったという感想ばかりであった。地域のことや環境を知ること、地域の方と交流することが児童にとっては大変楽しく有意義な時間で、地域理解や地域愛につながったと考える。また、自分たちで企画・運営することの難しさや楽しさも体験できたようだ。このような実践を続けることによって、地域へ自主的に関わろうとする気持ちが育つものと考えている。課題としては、河川パトロールを土曜日に実施したが、登下校の安全面やスポ少の大会等の絡みなどから、できれば平日の午後に変更できないかを模索中である。ただ、平日開催となると、サポートしてくださる大人の人数が減り運営面、安全面に不安が残る。今後検討しなければならない。

(様式 3)